

第13回大気化学討論会プログラム

会期:2007年11月27日(火)~29日(木)

会場:名古屋大学東山キャンパス 野依記念学術交流館

口頭発表について

◎ 口頭発表の1件あたりの講演時間は以下の通りです。

ショート: 15分(発表10分+質疑応答5分)

ロング : 25分(発表18分+質疑応答7分)

◎ 口頭発表(ショートおよびロング)につきましては、PCプロジェクターが使用できます。(OHPの使用はできません)

◎ PCプロジェクター使用に関する注意

・ノートパソコンは発表者各自でご用意ください。

・事情によりパソコンを持参できない場合は、事前に実行委員会にご連絡頂き、PowerPointファイルをコピーしたUSBメモリをご持参ください。会場設置のパソコンにファイルをコピーして使用致します。ただし、OSやバージョンの違いなどによる不具合については対応できない場合があります。

・突然の故障や接続の際のトラブル発生に備え、USBメモリ等に発表書類のコピーを持参して頂く事をお勧めします。(接続・表示にトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順を繰り下げて頂く事があります)

ポスター発表について

◎ ポスターは 1日目(11月27日)PM12:00 から 3日目(11月29日)PM3:00 まで掲示することができます。

◎ 掲示終了後のポスターはお持ち帰り下さい。討論会終了後に残ったポスターは実行委員会で処分させていただきます。

◎ 掲示スペース(ポスターボード)は 幅113cm×高さ163cm です。

◎ ポスター固定には画鋸は使用できません。

コアタイム1: 第1日目(11月27日) 16:20-18:30

16:20-17:20 奇数番号を中心に説明

17:30-18:30 偶数番号を中心に説明

コアタイム2: 第2日目(11月28日) 11:20-12:50

11:20-12:00 奇数番号を中心に説明

12:10-12:50 偶数番号を中心に説明

2日間のコアタイムのうち1日しか参加できない場合は、その日に発表して下さい。

(その場合、説明の時間を長く取るなどの対応をお願いします。)

口頭発表

1日目 11月27日(火)

カッコ内は講演時間(単位:分)

13:30 (5)

実行委員会からの連絡

成層圏・圏界面 座長 長浜智生(名古屋大学太陽地球環境研究所)

13:35 (25)

要旨

サブミリ波リム放射サウンダによる成層圏水蒸気同位体の観測:メタンから生成された水蒸気量の推定

◎笠井康子(NICT), J. Urban (Chalmers Univ), Donal Murtagh (Chalmers Univ), Odin/SMR リトリバルチーム (Chalmers Univ)

K-1

14:00 (15)

要旨

成層圏における二酸化炭素の放射性炭素同位体比の観測

◎大川歩子1、中澤高清1、中村俊夫2、青木周司1(1東北大学、2名古屋大学)

K-2

14:15 (15)

要旨

TTL水蒸気MATCHを用いた水平移流に伴う脱水の評価(2)

◎稲飯洋一、長谷部文雄、藤原正智(北海道大学・環境科学院)、塩谷雅人(京都大学・生存圏)、西憲敬(京都大学・理)、荻野慎也(JAMSTEC)、Holger Voemel (NOAA/Colorado大学)

K-3

14:30 (15)

要旨

成層圏気温低下トレンドについて: 緯度高度分布からの考察

◎吉田真己(名大・環境学)、神沢博(名大・環境学)

K-4

14:45 (15)

要旨

ILAS/ILAS-IIデータプロダクトの現状

◎杉田考史1、中島英彰1、横田達也1、Sergey Oshchepkov1、田中智章1、笹野泰弘1(1環境研)

K-5

<15:00 (15) 休憩>

対流圏・成層圏オゾン 座長 関山剛(気象研究所)

15:15 (15)

要旨

全球オゾン変動に対する気候応答: 20世紀中の対流圏オゾン増加および成層圏オゾン減少の影響

◎須藤健悟1,2、秋元肇2 (1名大院・環境、2地球環境フロンティア)

K-6

15:30 (25)

要旨

ライダーで観測された対流圏オゾンの季節変化の特徴

◎中里真久、永井智広、酒井哲、内野修、真野裕三(気象研)

K-7

15:55 (15)

要旨

タグ付きトレーサーによる日本の対流圏オゾンに対する発生源別寄与率評価

◎永島達也(国立環境研究所)、須藤健悟(名大)、秋元肇(地球環境フロンティア)

K-8

<16:10 (10) 休憩>

ポスターセッション1

16:20 (130) 奇数番号:16:20-17:20
偶数番号:17:30-18:30

18:30 第1日目終了

<18:30 ナイトセッション(ポスター会場)>

2日目 11月28日(水)

長寿命気体1 座長 山岸洋明(国立環境研究所)

- 9:00 (15) **要旨** 大気中O₂/N₂比高精度連続測定装置の開発と大気観測への応用
○後藤大輔1、森本真司2、石戸谷重之1、小木昭典1青木周司1、中澤高清1(1東北大、2極地研)
- K-9
- 9:15 (15) **要旨** アラスカでの焚火実験で放出されたメタンの炭素/水素安定同位体比の測定
○梅澤拓1、Yongwon Kim2、青木周司1、中澤高清1(1東北大院理、2University of Alaska Fairbanks)
- K-10
- 9:30 (25) **要旨** 観測とモデル計算を用いた西太平洋上における一酸化炭素濃度の時空間変動解析
○八代尚1、菅原敏2、須藤健悟3、中澤高清1、青木周司1(1東北大院理、2宮城教育大、3名大院環境)
- K-11

長寿命気体2 座長 和田晃(気象大学校)

- 9:55 (25) **要旨** 定期航空機で観測された圏界面付近のCO₂濃度の季節変動
○澤庸介(気象研)、町田敏暢(国環研)、松枝秀和(気象研)
- K-12
- 10:20 (15) **要旨** 土地利用変化に伴う陸域生態系による1990年代の二酸化炭素吸収・排出量算出値の相互比較
○伊藤彰記(FRGGC/JAMSTEC)、ペナージョイス(ミシガン大)
- K-13
- 10:35 (15) **要旨** 大気-陸域間の微量物質交換を扱う統合的モデルの開発
○伊藤昭彦(国環研、JAMSTEC)
- K-14
- 10:50 (15) **要旨** 全球ラドン222散逸率分布の推定
後藤真佳、○森泉 純、山澤弘実、飯田孝夫(名大院・工)
- K-15

<11:05 (15) 休憩>

ポスターセッション2

11:20 (90) 奇数番号:11:20-12:00
偶数番号:12:10-12:50

<12:50 (60) 昼食>

研究プロジェクト 座長 松枝秀和(気象研究所)

- 13:50 (15) **要旨** WCRPの新しい動き
○安成哲三(名大地球水循環)
- K-16
- 14:05 (15) **要旨** WCRPとIGBP合併への動き—今後のSPARC-IGAC連携を考える—
○林田佐智子(奈良女子大・理学部/SPARC SSG委員)
- K-17
- 14:20 (25) **要旨** GOSATの検証計画
○森野勇(環境研)、内野修(環境研)、工藤泰子(日本気象協会)、山口高明(日本気象協会)、横田達也(環境研)
- K-18
- 14:45 (15) **要旨** 特定領域研究「海洋表層・大気下層間の物質循環リンケージ(W-PASS)」の目指すもの
○植松光夫(東大・海洋研)
- K-19

<15:00 (15) 休憩>

特別セッション:地球システム科学における大気化学分野の役割を考える

コンピーナー 須藤健悟(名古屋大学)

- 15:15 (5) 趣旨説明
○須藤健悟(名大院・環境)
- K-20
- 15:20 (25) **要旨** (招待講演) 地球システムモデル開発と応用の概観
○河宮未知生(地球環境フロンティア)、他 革新プログラムメンバー
- K-21
- 15:45 (25) **要旨** (招待講演) GOSATは陸域炭素循環解明にどの様に貢献するか
○井上元(名大院環境)
- K-22
- 16:10 (25) **要旨** (招待講演) 人間活動がアジアモンスーン変化に及ぼす影響—最近の気候モデル研究より
○安成哲三(名大地球水循環・地球環境フロンティア)
- K-23
- 16:35 (40) 総括、総合討論(須藤健悟)

<17:15 (15) 休憩>

17:30 (20) 奨励賞受賞講演
17:50 (40) 大気化学研究会 会員総会
18:30 第2日目終了

<18:45 (120) 懇親会 会場:レストラン花の木(名古屋大学内)>

3日目 11月29日(木)

VOCs 座長 菅野望(東京大学)

- 9:00 (15) **要旨** 霞ヶ浦におけるVOCフラックスの連続測定法の開発

- K-24
9:15 (15) **要旨** ○大木淳之(環境研)、横内陽子(環境研)
PTR-MSを用いた海洋表層における溶存VOC連続定量システムの開発
- K-25
9:30 (15) **要旨** ○亀山宗彦1、谷本浩志1、猪俣 敏1、角皆 潤2(1環境研、2北大院・理)
PTR-MSを用いた大気中ホルムアルデヒド濃度の決定
○猪俣 敏(環境研)、谷本浩志(環境研)、亀山宗彦(環境研、JSPSフェロー)、角皆 潤(北大院理)、入江仁士(地球フロンティア)、金谷有剛(地球フロンティア)、Zifa Wang (IAP/CAS)
- K-26

窒素酸化物・ラジカル 座長 猪俣敏(国立環境研究所)

- 9:45 (15) **要旨** 衛星センサーOMIの対流圏NO₂カラムデータの検証－中国華北平原で実施したMAX-DOAS観測との比較－
○入江仁士、金谷有剛、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、谷本浩志(環境研)、王自発(中国科学院大気物理研)
- K-27
10:00 (15) **要旨** 中国都市郊外部、夏季におけるNO_x、NO_yの挙動
○北 和之、駒崎光俊、宮下修司(茨城大・理)、近藤豊、竹川暢之、宮崎雄三(東京大・先端研)、小池真(東京大院・理)
- K-28
10:15 (15) **要旨** 2007.夏の都心におけるOHラジカルの反応性測定
○松田裕明1、中嶋吉弘1、井出滋雄2、宮崎洸治1、山崎晃司2、岡崎創1、長田拓也2、田島洋介1、Jeeranut Suthawaree1、加藤俊吾1、下紳郎1.3、松永壮1.3、Eric Apel4、James Greenberg4、Alex Guenther4、上野広行5、佐々木啓行5、星純也5、横田久司5、吉野彩子5、石井康一郎5、梶井克純1(1首都大・都市環境、2 都立大・工、3 石油産業活性化センター、4 NCAR、5 東京都環境整備公社・環境科学研究所)
- K-29
10:30 (25) **要旨** 硝酸の三酸素同位体組成を指標に用いた沈着後のNO_xの環境動態解析
○角皆 潤、小松大祐、大久保智、石村豊穂、廣田明成、代田里子、中川書子(北大院理)
- K-30

<10:55 (15) 休憩>

エアロゾルの分布・輸送 座長 奥沢和浩(北海道大学)

- 11:10 (25) **要旨** 北部北太平洋における海霧による海洋大気エアロゾルの除去過程
○成田祥(東大海洋研)、岩本洋子(東大海洋研)、吉田健太郎(東大海洋研)、近藤雅輝(東大海洋研)、植松光夫(東大海洋研)
- K-31
11:35 (15) **要旨** 北太平洋亜熱帯域における大気エアロゾル中のリンの挙動
○日黒亜衣1、成田祥1、坂本弘美2、岩本洋子1、植松光夫1(1東大・海洋研、2創価大)
- K-32
11:50 (25) **要旨** 済州島エアロゾル試料中の脂質化合物の分布と季節変化および黄砂粒子・大気降下物との比較
○河村公隆1)、狩谷 直1.2)、Meehye Lee3) 1) 北大低温研、2) 北大環境科学院、3) Korea University, South Korea
- K-33
12:15 (25) **要旨** 南極昭和基地でのブラックカーボンの濃度変化と輸送過程
○原圭一郎(福岡大・理)、長田和雄(名大環境学)、矢吹正教(極地研)、林政彦(福岡大・理)、山内恭(極地研)、和田誠(極地研)、塩原匡貴(極地研)
- K-34

<12:40 (60) 昼食>

エアロゾルの特性・生成過程 森野悠(国立環境研究所)

- 13:40 (15) **要旨** イソプレンの光酸化で生成する二次有機粒子組成
○佐藤圭(環境研)、今村隆史(環境研)
- K-35
13:55 (15) **要旨** 空中に浮遊した潮解性微粒子の固化過程に関する研究
○原野安土、斎藤広明(群大院・工)、川原洋志(群大工)
- K-36
14:10 (15) **要旨** アジア大陸起源空気塊中のブラックカーボンの混合状態の測定
○白岩学1、近藤豊1、茂木信宏1、L.K. Sahu1、竹川暢之1、高見昭憲2、畠山史郎3 (1 東大先端研、2 環境研、3 農工大)
- K-37
14:25 (25) **要旨** タンデムAPMを用いて測定された不揮発性粒子の被覆重量と雲凝結核能の関係
○桑田幹哲、近藤豊
- K-38
14:50 (25) **要旨** Importance of Atmospheric Aging on CCN Activity and Relative Contribution of Aerosol Types to the CCN Derived from a Field Observation
○Hiroshi Furutani1,4, Manuel Dall'osto2, Greg C. Roberts3, Kimberly A. Prather1,3 (1University of California at San Diego, 2University of Birmingham, 3Scripps Institution of Oceanography, 4Now at University of Tokyo)
- K-39

15:15 第3日目終了・閉会

ポスター発表

掲示可能時間: 第1日目(11月27日)の昼12時から第3日目(11月29日)の15時まで

コアタイム1: 第1日目(11月27日) 16:20-18:30

16:20-17:20 奇数番号を中心に説明

17:30-18:30 偶数番号を中心に説明

コアタイム2: 第2日目(11月28日) 11:20-12:50

11:20-12:00 奇数番号を中心に説明

12:10-12:50 偶数番号を中心に説明

2日間のコアタイムのうち1日しか参加できない場合は、その日に発表して下さい。
(その場合、説明の時間を長く取るなどの対応をお願いします。)

P-01	要旨	与那国島における大気中ラドンおよび微量気体の濃度変動について ○和田晃(気象大)、松枝秀和(気象研)、澤庸介(気象研)、坪井一寛(気象庁)、堤之智(気象庁)
P-02	要旨	大気中ラドン測定装置の改良と気象研究所鉄塔における微量気体の観測 ○和田晃1、村山昌平2、松枝秀和3、澤庸介3、石島健太郎4、菅原広史5、三枝信子2、飯塚悟2、近藤裕昭2(1気象大、2産総研、3気象研、4地球環境フロンティア、5防衛大)
P-03	要旨	大気中酸素/窒素比の船上観測システムの開発 ○山岸洋明(環境研)、遠嶋康徳(環境研)、向井人史(環境研)、野尻幸宏(環境研)
P-04	要旨	定期航空機によるフラスコサンプリングで観測された微量気体濃度の変動 ○松枝秀和(気象研)、町田敏暢(国環研)、澤庸介(気象研)
P-05	要旨	定期航空機で観測されたCO2濃度鉛直分布の地域特性 ○町田敏暢(環境研)、松枝秀和(気象研)、澤庸介(気象研)
P-06	要旨	気球搭載用CO2センサの性能評価 ○井出智幸1、藤井宏樹2、金田昌廣3、鳥山哲司3、小椋浩平4、谷川純也4、石原裕己4、宮崎芳郎4、中山智喜3、松見豊3、川崎昌博5、井上元6(1名大院理、2京大工、3名大太陽研、4矢崎総業、5京大院工、6名大院環境)
P-07	要旨	非分散型赤外分析計を用いたCO2濃度測定に対する13C効果の評価 ○遠嶋康徳1、向井人史1、町田敏暢1、赤間功2、甘利岳人2、勝又啓一3(1環境研、2ジャパンファインプロダクツ、3地球人間環境フォーラム)
P-08	要旨	中赤外レーザー分光法を用いた大気CO2同位体比(13C, 18O)のリアルタイムその場計測(1)計測装置概要と基本性能 ○Julie Pearce(名大STE研、JSPS)、岩崎絵利果、千葉仁、中山智喜、松見豊(名大院理、名大STE研)、下野彰夫(三友プラント)、David D. Nelson、J. Barry McManus、Scott C. Herndon、Mark S. Zahniser(Aerodyne)、Bela Tuzson、Lukas Emmenegger(EMPA, Switzerland)
P-09	要旨	中赤外レーザー分光法を用いた大気CO2同位体比(13C, 18O)のリアルタイムその場計測(2)性能試験と大気実測結果 ○岩崎絵利果(名大院理、名大STE研)、Julie Pearce(名大STE研、JSPS)、千葉仁、中山智喜、松見豊(名大院理、名大STE研)、井上元(名大院環境)
P-10	要旨	近赤外レーザー分光法による温室効果ガスの高感度検出と圧力依存 ○朝川貴司1・小林尚人1・菅野 望2・戸野倉賢一2(1東大院工・2東大環安研セ)
P-11	要旨	オープンパスFTIR分光法と微気象学的方法による水田からのガスフラックスの測定 ○榎本隆典1、中繁健志1、三木健太郎1、吉村季織1、堀尾正朝2、高柳正夫1(1東農工大院農、2東農工大院BASE)
P-12	要旨	ポーカークラフトFTIRによる対流圏メタンの観測 ○笠井康子1、倉元奈津子2、香川晶子1、村山泰啓1、水谷耕平1(1NICT、2日本女子大)
P-13	要旨	つくば高分解能FTSによるCO2カラム平均濃度の変動観測 ○大山博史(神戸大院・自然科学、環境研)、森野勇(環境研)、町田敏暢(環境研)、長浜智生(名大STE研)、中根英昭(環境研)、中川和道(神戸大院・自然科学)
P-14	要旨	キャビティリングダウン分光法によるメタンの圧力広がり係数の計測 ○山農大輔(京大院・工)、坂本陽介(京大院・工)、川崎昌博(京大院・工)、森野勇(環境研)、井上元(名大院・環境学)
P-15		水蒸気圧力広がり係数の大気放射伝達計算への影響 ○瀬田孝将(NICT)、保科宏道(理研)、笠井康子(NICT)寶迫巖(NICT)、大谷知行(理研)
P-16	要旨	GOSAT/TANSO-FTS熱赤外領域でのCO2濃度導出手法(その2) ○齋藤尚子(東大気候システム)、太田芳文(環境研)、丹羽洋介(東大気候システム)、今須良一(東大気候システム)
P-17	要旨	Optimization of the seasonal cycles of CO2 flux of CASA and the effects of the vertical mixing in a transport model ○中塚由美子1、Nikolay Kadyrov1、Shamil Maksyutov1、町田敏暢1(1環境研)
P-18	要旨	波照間における観測値を利用した東アジアにおけるHCFC-22排出量推定 ○白井知子、菅田誠治、横内陽子、Shamil Maksyutov(国立環境研究所)
P-19	要旨	アンサンブル・カルマン・フィルタによるオゾン全量のデータ同化 ○関山剛(気象研)、三好建正(気象庁)、出牛真(気象研)、柴田清孝(気象研)
P-20	要旨	南米チリ・アタカマ高地における中間圏微量分子の連続観測

		○長浜智生、水野亮、前澤裕之、鳥山哲司、児島康介、桑原利尚、土岐一貴、寺田良平(名大STE研)、森平淳志(ULVAC)
P-21	要旨	富士山の地表と自由空間における境界層高度の比較 ○藤代恵史・三浦和彦・室崎将史1、小林拓2、兼保直樹3、速水洋・藤田慎一4、五十嵐康人5 (1東理大、2山梨大、3産総研、4電中研、5気象研)
P-22	要旨	TBBとCALIPSOによる熱帯域雲頂高度の比較 ○圓若和希、柴田隆(名大院・環境学)
P-23	要旨	ライダーで観測された新粒子生成イベント ○楊芸、柴田隆(名大院・環境学)
P-24	要旨	乗鞍岳において観測された新粒子生成イベント ○西田千春(名大院・環境学)、長田和雄(名大院・環境学)、木戸瑞佳(富山県環境科学センター)、松永捷司(名大院・環境学)、岩坂泰信(金沢大)
P-25	要旨	立山・室堂平の積雪中に含まれる化学成分の経年変化 ○志度裕子・長田和雄(名大院・環境学)、木戸瑞佳(富山・環科セ)、飯田肇(立カル砂防博物館)
P-26	要旨	サブミクロンの弱吸湿性エアロゾル粒子:水透析法を用いた混合状態の個別粒子解析 ○上田紗也子(名大院・環境学)、長田和雄(名大院・環境学)、岡田菊夫(気象研)
P-27	要旨	硝酸塩と硫酸塩の乾性沈着に果たす海塩粒子の役割—粒径別エアロゾル観測からの見積もり— ○川上七恵1.#、長田和雄1、西田千春1、矢吹正教2、小林拓3、原圭一郎4、塩原匡貴2(1名大院・環境学、2極地研、3山梨大、4福岡大、#現在、愛知県環境調査センター)
P-28	要旨	春季におけるダスト輸送に伴う化学成分の長距離輸送と除去 ○猪股弥生、五十嵐康人、高橋宙、千葉長、篠田佳宏、田中泰宙(気象研)
P-29	要旨	風送ダストと人工放射能の輸送:2007年4月の事例を中心に ○五十嵐康人、猪股弥生、青山道夫、高橋宙、篠田佳宏*、広瀬勝己、千葉長(気象研)
P-30	要旨	光音響法を用いた黒色炭素粒子の光吸収特性の測定 ○岩本達志1、北和之2、白岩学1、近藤豊1(1東大先端研、2茨城大理)
P-31	要旨	サーモデニューダによるすすの混合状態測定 ○財前祐二、岡田菊夫、高橋宙、直江寛明(気象研)
P-32	要旨	PILS/XAD-8による水溶性有機エアロゾルのオンライン測定 ○宮崎 雄三、白岩 学、近藤 豊 (東大先端研)
P-33	要旨	夏季のエアロゾル高濃度イベントにおける二次有機エアロゾルのシミュレーション ○森野悠、大原利真(国立環境研)、近藤豊、竹川暢之、宮川拓真(東大先端研)
P-34	要旨	領域化学輸送モデルを用いた中国泰山におけるガス・エアロゾル濃度変動要因の解析 ○山地一代1、滝川雅之1、李杰1、金谷有剛1、ポチャナート バクボン1、劉宇1、駒崎雄一1、大原利真1.2、鶴野伊津志3秋元肇1(1地球フロンティア、2環境研、3九大)
P-35	要旨	2006年6月中国・泰山におけるエアロゾル挙動:MAX-DOAS法によるエアロゾル消散係数の測定と化学成分分析の関係、および単一散乱アルベドの推定 ○金谷有剛、入江仁士、バクボン・ポチャナート、劉宇、駒崎雄一、秋元肇(海洋研究開発機構・地球環境フロンティア)、 Yuesi Wang, Zifa Wang (中国科学院大気物理研)
P-36	要旨	中国泰山における半揮発性ジカルボン類の分布と濃度変化 ○奥沢和浩(北大環境科学院・北大低温研)、河村公隆(北大低温研)、Shankar Gopala Aggarwal (北大低温研)、金谷有剛(FRCGC/JAMSTEC)、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、王自発(中国科学院大気物理研)
P-37	要旨	Molecular composition and concentrations of organic aerosols in the troposphere over Mt. Taishan, China ○Pingqing Fu, Kimitaka Kawamura, Kazuhiro Okuzawa, Shankar Gopala Aggarwal (Hokkaido Univ., ILTS), Yugo Kanaya, Hajime Akimoto (JAMSTEC), Zifa Wang (IAP, China)
P-38	要旨	2006年春季東アジア地域におけるエアロゾル化学成分の特徴—中国と沖縄辺戸岬における観測から ○相澤順子1.2、高見昭憲2、大原利真2、畠山史郎2.3(1筑波大院・環境、2国立環境研、3農工大院・農)
P-39	要旨	沖縄・辺戸岬における低分子ジカルボン酸の分布と起源 ○鳥居和洋1、河村公隆2、奥沢和浩1、北森康之1持田陸宏3 (1北大院・環境化学、2北大院・低温研、3名大院・環境学)
P-40	要旨	沖縄辺戸岬における有機エアロゾルの組成と季節変化:2005-2006年に観測されたn-アルカン ○小川志保(筑波大院・環境科学研究科)、佐藤圭(環境研)、田中友里愛(筑波大)、李紅(環境研)、大原利真(筑波大院・環境研)、畠山史郎(筑波大・環境研)
P-41	要旨	2007年春季に沖縄辺戸岬で観測された海洋エアロゾル粒子の吸湿特性 Shankar G. Aggarwal1、北森康之1、○持田陸宏2、河村公隆1、高見昭憲3、畠山史郎3.4(1北大低温研、2名大高等研究院、3国立環境研、4東京農工大)
P-42	要旨	2006年春季沖縄辺戸岬における大気エアロゾルの単一微粒子質量分析計による測定-PbおよびFe成分に注目して- ○熊澤俊哉1、数下彰啓2、松本淳3、高橋けんし4、中山智喜1、松見豊1(1名大院理・名大STE研、2京大院工、3東工大統合研究院、4京大次世代ユニット)
P-43	要旨	Comparison of suburban megacity air quality: Initial report on O3, CO, and VOC in Bangkok and Tokyo ○スタフリー ジーナット1、田島洋介1、Sharp Alice2、Khunchornyakong Alisa3、加藤俊吾1、梶井克純1(1首都大院・都環、2Sirindhorn International Institute of Technology, 3Asian Institute of Technology)
P-44	要旨	東アジアに着目した対流圏オゾンの解析 1.空気塊分類によるオゾンゾンデータの解析 ○川添夕子、川岸諒子、瓜田直美、林田佐智子、野口克行(奈良女子大・理)
P-45	要旨	東アジアに着目した対流圏オゾンの解析 2.衛星観測から得られた季節変化 ○瓜田直美、川岸諒子、川添夕子、林田佐智子、野口克行(奈良女子大・理)
P-46	要旨	北太平洋のDMS放出量の測定

		○永尾一平(名大院・環境学)、植松光夫(東大海洋研)
P-47	要旨	小笠原でのVOC観測による長距離輸送の検討
		○田島洋介、木村嘉克、谷翔志、野崎祥志、加藤俊吾、梶井克純(首都大院・都環)
P-48	要旨	苫小牧研究林でのVOC測定
		○加藤俊吾1、西田哲2、田島洋介1、岡崎創1、松田裕明1、松永壮1、James Greenberg3、Alex Guenther3、日浦勉4、石井康一郎5、梶井克純1(1首都大・都市環境、2岐阜大・工、3NCAR、4北大・北方フィールド、5東京都環境整備公社・環境科学研究所)
P-49	要旨	真空紫外一光子イオン化質量分析計による揮発性有機化合物の大気測定
		○菅野望(東大・環安研セ)、長島理香((株)トヤマ)、戸野倉賢一(東大・環安研セ)
P-50	要旨	単一微粒子質量分析計を用いたディーゼル排出微粒子中多環芳香族炭化水素のリアルタイム計測
		○数下彰啓1、熊澤俊哉2、成川正広2、高橋けんし3、松見豊2(1京大院工、2名大院理・名大 STE研、3京大次世代ユニット)
P-51	要旨	Snowpack PhotochemistryにおけるOHラジカルの直接検出
		○数下彰啓1、飯田大輔1、羽馬哲也1、横山正明1、川崎昌博1、Paul D. Hamer2、Dudley E. Shallcross2(1京大院工、2School of chemistry, University of Bristol)
P-52	要旨	競争反応を用いた陽子移動反応質量分析計による新規OH反応性測定装置の開発
		○岡崎創、長田拓也、加藤俊吾、梶井克純(首都大院・都環)
P-53	要旨	2007年夏季東京観測:エアロゾル光学特性と気相成分濃度の測定ー新しい計測法のチャレンジー
		○中山智喜1、萩野理恵1、宮尾優香1、千葉仁1、熊澤俊哉1、岩崎絵利果1、井出智幸1松見豊1、工藤玲2、山崎明宏2内山明博2、高橋けんし3、朝川貴司4、神戸康聡4、戸野倉賢一4、坂本陽介5、山農大輔5、川崎昌博5(1名大院理・STE研、2気象研、3京大次世代ユニット、4東大環安研セ、5京大院工)
P-54	要旨	2007年夏季東京観測:レーザーキャピティリングダウン法によるエアロゾル消散係数の正確な測定
		○萩野理恵1、井出智幸1、中山智喜1、松見豊1、工藤玲2、山崎明宏2、内山明博2戸野倉賢一3、坂本陽介4、川崎昌博4、東京観測グループ(1名大院理・STE研、2気象研、3東大環安研セ、4京大院工)
P-55	要旨	2007年夏季東京観測:Moコンバータ化学発光NO2計測の問題点ーレーザー誘起蛍光法との比較ー
		○宮尾優香1、井出智幸1、中山智喜1、松見豊1、高橋けんし2、戸野倉賢一3、東京観測グループ(1名大院理・STE研、2京大次世代ユニット、3東大環安研セ)
P-56	要旨	近紫外 LED を用いた NO2 光解離変換器の製作とキャラクタリゼーション
		○定永靖宗、竹中規訓、坂東博(阪府大院工)
P-57	要旨	LIF-NO2計測装置を用いた大気中NO測定システムの開発
		○宮崎洸治1、松本淳2、加藤俊吾1、梶井克純1(1.首都大院・都環、2.東工大)
P-58	要旨	降水に含まれる硝酸イオンの三酸素同位体組成を指標に用いたNOxの光化学反応過程解析
		○代田里子(北大・理)、小松大祐、大久保智、中川書子、角皆潤(北大院・理)、野口泉(北海道環境科学センター)、金龍元(アラスカ大学)
P-59	要旨	Laboratory Studies of Stable Carbon Isotopic Composition of Secondary Particulate Organic Matter Formed by Toluene-OH Radical Induced Reactions
		○伊礼聡(YorkU.)、Lin Huang (Env.Can.)、Fabrice Collin (YorkU.)、Wendy Zhang (Env.Can.)、Janeen Auld (YorkU.)、Donald Hastie (YorkU) and Jochen Rudolph (YorkU)
P-60	要旨	NO3ラジカルとヨウ化エチルの反応によるエアロゾル生成
		○桑原祐一、中野 幸夫、石渡 孝(広島市立大学大学院・情報科学研究科)
P-61	要旨	HO2ラジカルの不均一反応実験:無機エアロゾル粒子への取り込み係数の決定
		○竹谷文一、金谷有剛、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)
P-62	要旨	EDB装置を用いた海塩粒子とSO2の反応性評価
		○原野安土、斎藤直(群大院・工)、望月智子(群大工)
P-63	要旨	海洋境界層におけるHO2-H2O錯体の生成とその影響力
		○戸野倉賢一1、A. T. Archibald2、C. J. Percival3、D. E. Shallcross2(1東大環安研セ、2ブリストル大、3マンチェスター大)
P-64	要旨	室温におけるH2Oダイマーの実効的相互作用エネルギー
		○坂本陽介1、山農大輔1、川崎昌博1、中山智喜2、井上元3、森野勇4(1京大院工、2名大院理・STE研、3名大院環境、4環境研)
P-65	要旨	パーフルオロアルデヒドのCl原子及びOHラジカル酸化反応のダイナミクス
		○瀬戸口修、三島寛、佐藤優、(産総研)
P-66	要旨	エーテル類化合物とNO3ラジカルとの反応速度定数の測定
		○陳 亮、内丸忠文、徳橋和明、関屋章(産総研)、岡本 秀一(旭硝子(株))
P-67	要旨	ペンタナール(C4H9CHO)の大気化学反応過程
		○千葉 仁、岩崎 絵利果、中山 智喜、松見 豊(名大院理・STE研)、高橋 けんし(京大次世代ユニット)、T. J. Wallington (Ford SRL)